

薬学部
人文社会学部
ヒューマンケア学部
健康メデイカル学部
健康医療スポーツ学部

学 力 試 験
国 語

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

- 一、試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
二、解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に左記の例のようにマークしてください。

(例)

解答	
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
2	① ② ③ ● ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

※同じ解答欄に複数のマークをすることもあります

記述式の問題は記述用解答用紙に記入してください。

- 三、机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
四、問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
五、問題は3問全問解答必須です。
六、試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
七、問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
八、配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

志望学科・コースの上枠に○をつけてください（第一志望のみ）

受 験 番 号								
氏 名	志望学科・コース							
		薬学部	薬学	科				
	人文社会学部	小学校・特別支援コース	保育・幼稚園コース	福祉コース				
	ヒューマンケア学部	トレーナー・鍼灸コース	トレーナー・看護コース	看護学科				
	健康メデイカル学部	健康栄養学科	心理学科	言語聴覚学科				
	健康医療スポーツ学部	トレーナー・看護コース	作業療法コース	理学療法コース				
観光経営学科								
経営コース								
グローバル経営コース								
トレーナー・経営コース								
スポーツサイエンスコース								
臨床工学コース								
救急救命士コース								
理学療法学科								
作業療法学科								
救急救命士コース								
トレーナー・スポーツコース								
アスリートコース								
動物医療コース								
看護学科								

「問題Ⅱ」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、[1]～[3]は、段落番号である。

日本にいま必要なのは「訂正する力」です。

日本は魅力的な国です。けれどもさまざまな分野で行き詰まっています。政治は変わらず、経済は沈んだままです。

メディアは大胆な改革が必要だと叫びます。けれども実際にはなにも進みません。人々は不満を募らせています。

もう日本はだめなのでしょうか。ぼくはそうは思いません。ただ、そこで必要になるのは、トップダウンによる派手な改革ではなく、ひとりひとりがそれぞれの現場で現状を少しずつ変えていくような地道な努力だと思います。

そのような地道な努力にもやはり哲学が必要です。小さな変革を後押しするためには、いままでの **a** 蓄セキを安易に否定するのではなく、むしろ過去を「再解釈」し、現在に生き返らせるような柔軟な思想が必要です。ぼくは本書でその思想について語っていきます。

ものごとをまえに進めるために、現在と過去をつなぎなおす力。それが本書が言う「訂正する力」です。

[1] このような主張に物足りなさを感じるひともいるかもしれませんが、日本はリセット願望が強い国です。明治維新と敗戦の二度にわたって国のかたちを大きく変え、急激な成長を成し遂げたという成功体験をもっています。

[2] だからいまでも多くのひとが、長い **b** 停タイを突破するためには、ゼロからの再出発がいいと考えています。東日本大震災のあとには、これで日本社会はがらりと変わる、「災後」という新時代に入ると言われました。最近でも社会学者の宮台真司みやたいしんじさんが「加速主義」なる言葉を紹介し、人気を博しています。「日本はいったんとことんだめになって、そこから再生すべきだ」という主張が、一部の若者に人気がようです。

[3] けれども、それは単純な考えだと思います。そもそも国の成長は永遠に続くものではありません。あるていど豊かになったあとは、豊かさの「維持」を考えなければなりません。そしてなにかを維持するとは、古くなっていくものを肯定的に語ることにほかなりません。それが成熟した国のありかたです。

これは個人の話に置き換えれば、老いを肯定することでもあります。リセットしたいというのは、要はもういちど若くなりたいということです。Ⅰ この国の人々は年を重ねることについて肯定的に語る言葉をもっています。[ア] 老いについて単純で暴力的な語り口が横行しています。「延命治療をやめるべき」だとか「老人は集団自決するべき」だといった議論が、定期的に現れます。

世界的に人気があるサブカルチャーの分野でも、主人公は若者ばかりです。さまざまな挫折や失敗を経験し、もがき苦しみながら生きていこうとする中高年が描かれることはあまりありません。

Ⅱ 人間はだれもが老います。老いは避けられないのですから、否定しても意味がありません。肯定的に語るすべをもたなければなりません。

では、Ⅱ 老いるとはなんでしょうか。それは、若いころの過ちを「訂正」し続けるということです。30歳、40歳になったら20歳のころと考えが違うのは当然だし、50歳、60歳になってもまた変わってくる。同じ自分を維持しながら、昔の過ちを少しずつ正していく。それが老いるということです。老いるとは変化することであり、訂正することなのです。

日本には、まさにこのⅢ 変化Ⅱ訂正を嫌う文化があります。政治家は謝りません。官僚もまちがいを認めません。いちど決めた計画は変更しません。誤る（あやまる）と謝る（あやまる）はもともと同じ言葉です。いまの日本人は、誤りを認めないので謝ることもしないわけです。

とくにネットではこの傾向がc ケン著です。かつての自分の意見とわずかでも異なる意見を述べる時、「以前の発言と矛盾する」と指摘され、集中砲火を浴びて炎上する。そういう事件が日常的に起きています。

2020年代に入り、2ちゃんねる創設者のひろゆきさんを中心にした「論破ブーム」が巻き起こり、その傾向がますます強くなりました。論破するには相手の発言の矛盾を突けばいい。過去と意見が変わっていれば、それだけで負け。そういう判断基準が若年世代を中心に広く受け入れられています。このような状況では、謝るところか、議論を通じて意見を変えることすらできません。

政治的な議論も成立しません。政治とはそもそも絶対の正義を振りかざす論破のゲームではありません。あるべき政治は、右派と左派、保守派とリベラル派がたがいの立場を尊重し、議論を交わすことでおたがいの意見を少しずつ変えていく対話のプロセスのはずです。しかし、現状ではそんなことはできない。

とくに最近の左派の一部は頑^{かたく}なです。彼らはどんな説明を聞かされても意見を変えません。むしろその頑なさが「ぶれない」として評価されている。そのため政府側も彼らをクレーマーとして扱い、真剣な議論を行わない。政権側も反政権側もおたがいが「相手は変わらない」と思い込んでいるため、議論が始まらないわけです。あるのはいつも同じ「反対してろぞ」アピールだけです。

議論が始まるためには、おたがいが変わる用意がなければなりません。ところがいまの日本では、その前提が壊れています。みな「議論しましょう」とは言うものの、自分自身が変わるつもりはなく、むしろ変わってはいけないと思っていますのです。

Ⅳ そのような状況を根底から変える必要があります。そのための第一歩として必要なのが、まちがいを認めて改めるという「訂正する力」を取り戻すことです。

（東浩紀『訂正する力』より）

問一 傍線部 a ～ c のカタカナ部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中から一つずつ選びなさい。

解答は a ～ c の順にマーク用解答用紙の 1 ～ 3 にマークしなさい。

	a	b	c
①	学籍	洪滞	権限
②	相席	期待	検疫
③	免責	軍隊	嫌悪
④	面積	擬態	健康
⑤	鹵石	義体	顕示

問二 段落 1 ～ 3 のつながりとして最も適切なものを、次の中から選びなさい。解答はマーク用

解答用紙の 4 にマークしなさい。

	①	②	③	④	⑤
①	結論の提示	↓	結論の補足	↓	結論の理由
②	用語の定義	↓	定義への反論	↓	反論の具体例
③	対立意見の提示	↓	その具体例	↓	対立意見への反論
④	結論の提示	↓	結論への反論	↓	再反論
⑤	対立意見の提示	↓	対立意見への反論	↓	反論の理由

問三 傍線部 I 「この」とあるが、この語の品詞名は何か。最も適切なものを次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 5 にマークしなさい。

- ① 形容詞 ② 形容動詞 ③ 副詞 ④ 連体詞 ⑤ 代名詞

問四 空欄 ア ・ イ に入る適切な語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。その際、同じ語を繰り返し選ばないこと。解答は、ア・イの順にマーク用解答用紙の 6 ・ 7 にマークしなさい。

- | | | | | | | | |
|---|------|---|--------|---|-------|---|------|
| ① | なぜなら | ② | しかしながら | ③ | したがって | ④ | ところで |
| ⑤ | たとえば | ⑥ | つまり | ⑦ | だから | | |

問五 傍線部Ⅱ「老いるとはなんでしょうか」に対する、筆者の答えとして最も適切なものを、次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 8 にマークしなさい。

- ① 老いとは、過去をいっさい捨てて、若いころの自分に戻るようにやり直すことである。
- ② 老いとは、考えを変えずに同じ自分を保ち続け、過去の判断も維持することである。
- ③ 老いとは、経験が増えて成熟し、周りに流されずに「ぶれない」姿勢を貫くことである。
- ④ 老いとは、同じ自分を保ちながら、若いころの過ちを少しずつ正し、考えを更新していくことである。

- ⑤ 老いとは、誰もが避けられないものであり、自らの衰えを自覚し受け入れていくことである。

問六 傍線部Ⅲ「変化Ⅱ訂正を嫌う文化」の例として、最も適切なものを次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 9 にマークしなさい。

- ① 政治家が失敗を認めて速やかに謝罪し、状況に応じて計画を柔軟に変更する状況
- ② 右派と左派が互いの立場を尊重し、対話のプロセスで少しずつ意見を変えていく状況
- ③ 過去の発言との矛盾を指摘されると炎上し、意見が変わること自体が「負け」とみなされる状況

- ④ 過去の蓄積を否定せず「再解釈」して現在に生かす柔軟な姿勢が広がっている状況
- ⑤ 世界的に人気があるサブカルチャーの分野で、中高年を主人公にした作品が多い状況

問七 傍線部Ⅳ「そのような状況を根底から変える」ためには、「訂正する力」を取り戻すことが必要だと筆者が考えているのはなぜか。本文中の語句を使って五十五字以内（句読点・記号等も字数に含む）で説明しなさい。解答は記述用解答用紙に書きなさい。

【問題二】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、1～4は、段落番号である。

記憶とは、何でしょうか？ 記憶と言っても、ものごとを覚えたり、忘れたりすることだけではありません。記憶は、非常に重要な働きをしていて、いろいろな心の a 現シヨウに関与しています。

たとえば、過去の出来事を思い浮かべてください。その経験は楽しかったですか？ それとも、とても怖かったでしょうか？ 記憶を辿ると、さまざまな感情も一緒に思い出すはずです。

ア、記憶は感情にもリンクしているわけです。あるいは、何か質問に答える場面を想像してください。質問に答えるには、質問そのものを覚えて、関連する情報を思い出し、回答するために言葉を組み立てるはずですよ。つまり、ものを考えるときにも記憶は必要なのです。

我々の研究チームは、記憶の仕組みの b 解メイを目指しているので、記憶に関係する「海馬」や「扁桃体」という脳領域に注目しています。海馬は、脳の中でも比較的大きな組織なので、c 大雑バな実験でも、記憶に関係しているだろうと推測することは可能でした。そして現在、海馬は記憶を作ったり取り出したりすることに関係していることが分かっています。また扁桃体のほうは、感情の記憶に関係していることが分かっています。

やがて研究が進めば、記憶に関する病気を治すことも可能になるのです。

イ アルツハイマー病や記憶喪失などで失われた記憶も、取り戻せるかもしれません。正確に言うと、「アルツハイマー病」は、少なくともその初期段階においては、「記憶が失われた」のではなく、「脳のどこかにある記憶をうまく思い出せなくなったのだ」と考えています。この結論に至ったのは、ここ20年ほどの我々の研究によって記憶のメカニズムが細胞レベルで明らかにになり、マウスの記憶を操作することによって、Xに記憶を作ったり思い出させたりすることができるようになったからです。

記憶とは何だろう

それではまず、身近な記憶について考えてみましょう。たとえば I 今、あなたの目の前で起こっている一連の出来事を覚えること、これを「エピソード記憶」といいます。ご飯を食べたことや人に会ったこと、旅行に出かけたことなどは、エピソード記憶になります。

もし海馬が何かの原因で壊れると、「エピソード記憶を作ること」が困難になります。昨日誰とどこで何をしていたのか、分からなくなってしまうのです。大雑バな実験でもこうしたことはある程度分かりますが、神経細胞のネットワークはとても複雑なので、これだけで記憶の仕組みが分かったとは言えません。そこで、もっと海馬を詳細に調べるため、細胞レベル、あるいは分子レベルでコントロールする技術が求められました。

II 記憶の研究の世界でいちばん大きな問題は「どうやって記憶を作るか」ということです。たとえばこの本を読んだとき、あなたの脳にはいろいろな情報が入っていくことでしょう。その情報が、いったいどういう形であなたの脳の中に蓄えられているのか？ ということを知りたいのです。

情報は、脳のいろいろなところに散らばって蓄えられているのか、あるいは、ある脳部位に局在して蓄えられているのか。さらに、いくつぐらいの細胞が一つの記憶に対応しているのか。また、似たような経験をしたときに、その情報を担っている細胞はどのぐらい共通していて、どのぐらい別々なのか。そうしたことを調べるために、まずは、いろいろな記憶の痕跡（エングラム）、つまり、経験によって変化したニューロン（神経細胞）のネットワークの様子や各ニューロン間のつながり、あるいはニューロンそのものの状態を探るわけです。

記憶というのは、蓄えただけでは役に立ちません。「思い出す」ことが必要です。脳にいろいろな情報を貯め込んでいても、それを取り出せなかったら意味がありません。Ⅲ 記憶を思い出すことは、「想起」といいます。我々の研究では、この想起に注目しています。ではいったい、想起するというのは、どういう脳の状態なのでしょうか。

まず、ある経験をするることによって、あなたの脳にあるニューロン群が発火します。しかし発火は、ずっと継続しているわけではなくて、やがておさまります。ただし、おさまったあとも、何らかの物理的・化学的な変化が維持されているわけです。これが、記憶による変化です。

そこで次の日、あなたがその経験を思い出したとします。しかし、何かを思い出すためには、きっかけになる刺激が必要です。きっかけになる刺激には、さまざまな可能性があります。ふとある匂いを嗅いで、突然に何かを思い出すこともあるでしょうし、音楽の一節や、言葉、人の顔などが、一連の記憶を引き出すこともあるでしょう。

① たとえば今、あなたが僕と会って話したとしましょう。そのことが、あなたの脳に記憶を作ります。その後、他の人たちと忙しくいろいろな活動をします。その間、僕との話はまったく思い出さないかもしれません。けれども、あるときにどこかで僕の写真を見たりすると、それをきっかけとして、「ああ、この人と話をしたことがある」と思い出すこともあるでしょう。

② 一度思い出すと、その内容をかなり詳しく思い出すことができる場合があります。もしかしら、話をした部屋の細かな情景さえ鮮明に思い出すことができるかもしれません。このとき、あなたの脳の中でいったい何が起こっているのでしょうか？

③ おそらく、話をしたときに発火していたニューロン群（あるいはニューロンのネットワーク）が、話したことを思い出すときに再び発火しているのです。しかし、しばらくすると他のことに気が向いて、もう僕との話は思い出していません。このときには発火が沈静化して、ニューロン群はまた元の状態に戻っているわけです。

④ ただし、戻ってはいませんが、記憶する前の状態、つまり話をする前の状態にまでは戻っていません。話をした記憶が作られた変化は維持されているはずですが、だから、いつかまたきっかけがあれば思い出すこともできるでしょう。場合によっては、この変化はずっと維持されて、何年間も覚えている可能性だってあるでしょう。

（理化学研究所脳科学総合研究センター『つながる脳科学』より）

問一 傍線部 a ～ c のカタカナ部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中から一つずつ選びなさい。

解答は a ～ c の順にマーク用解答用紙の 10 に 12 にマークしなさい。

- | | | | | | |
|---|------|------|------|------|------|
| a | ① 継承 | ② 印象 | ③ 起床 | ④ 偽証 | ⑤ 有償 |
| b | ① 名医 | ② 感銘 | ③ 弁明 | ④ 迷彩 | ⑤ 盟主 |
| c | ① 一派 | ② 看破 | ③ 寒波 | ④ 把握 | ⑤ 破棄 |

問二 空欄 ア ・ イ に入る適切な語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。その際、同じ語を繰り返し選ばないこと。解答は、ア・イの順にマーク用解答用紙の 13 ・ 14 にマークしなさい。

- | | | | |
|--------|---------|-------|--------|
| ① たとえば | ② したがって | ③ しかし | ④ ところで |
| ⑤ あるいは | ⑥ つまり | ⑦ また | |

問三 空欄 X に入る最も適切な語を、次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 15 にマークしなさい。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① 偶発的 | ② 自発的 | ③ 客観的 | ④ 人為的 | ⑤ 全面的 |
|-------|-------|-------|-------|-------|

問四 傍線部 I 「今」が直接修飾するのは波線部の中のどの箇所か。最も適切なものを次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 16 にマークしなさい。

- | | | |
|--------|--------|----------|
| ① あなたの | ② 目の前で | ③ 起こっている |
| ④ 一連の | ⑤ 出来事 | |

問五 傍線部 II 「記憶の研究の世界でいちばん大きな問題」とはどのような問題か。最も適切なものを次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の 17 にマークしなさい。

- | |
|--|
| ① 海馬と扁桃体の役割を、はっきり分けて明らかにすること |
| ② 生まれつきの体質の違いだけで、記憶の差をどこまで説明できるかを明らかにすること |
| ③ 新しく生まれる脳の細胞が、記憶づくりにどの程度必要かを正確に量ること |
| ④ 行動の様子を見るだけで、記憶の働きをすべて説明できる理論を構築すること |
| ⑤ 情報が、脳のどこに、どの程度の広がり、どのようなまとまりや重なりで蓄えられているかを明らかにすること |

問六 傍線部Ⅲ「記憶を思い出すことは、『想起』といいますが、『想起』に関する説明としてふさわしくないものを次の中から一つ選びなさい。解答はマーク用解答用紙の18にマークしなさい。

- ① 記憶は脳の中に蓄積されていても、取り出せなければ意味がないため、「思い出す」ことに研究が注目している。
- ② 想起には、匂いや音楽など、何らかのきっかけとなる刺激が必要とされる。
- ③ 一度記憶が想起された後、ニューロン群の発火は沈静化し、記憶する前の状態にまで完全に戻る。
- ④ 経験によって生じたニューロン群の変化は、発火がおさまった後も維持されている。
- ⑤ 想起では、過去の経験に結びついた神経活動が再び発火すると考えられる。

問七 段落1 4のつながりとして最も適切なものを、次の中から選びなさい。解答はマーク用解答用紙の19にマークしなさい。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------|---|---|---------|---|---|--------|---|---|-------|
| ① | 1 | 問題提起 | ↓ | 2 | 補足説明 | ↓ | 3 | 反論 | ↓ | 4 | 結論の明示 |
| ② | 1 | 具体例の提示 | ↓ | 2 | 用語の定義 | ↓ | 3 | 反論 | ↓ | 4 | 論点の整理 |
| ③ | 1 | 問題提起 | ↓ | 2 | 論点の整理 | ↓ | 3 | 用語の定義 | ↓ | 4 | 応用例 |
| ④ | 1 | 具体例の提示 | ↓ | 2 | その描写と問い | ↓ | 3 | 仕組みの説明 | ↓ | 4 | 結果の明示 |
| ⑤ | 1 | 具体例の提示 | ↓ | 2 | その反証 | ↓ | 3 | 理由の説明 | ↓ | 4 | 結果の明示 |

「問題三」 次の各問いに答えなさい。

問一 次のア～オの熟語の対義語を、後の〈語群〉からそれぞれ一つ選びなさい。解答は、ア～オの順にマーク用解答用紙の 20 ～ 24 にマークしなさい。

ア 保守
イ 分散
ウ 対立
エ 受動
オ 複雑

〈語群〉

① 保全 ② 協調 ③ 革新 ④ 能動 ⑤ 単純
⑥ 拡張 ⑦ 吸収 ⑧ 集中

問二 次のア～オの慣用句の（ ）に入る語を、後の〈語群〉からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、同じものは重複して選ばないこと。解答はア～オの順にマーク用解答用紙の 25 ～ 29 にマークしなさい。

ア 相談を受けて、少しでも力になろうと（ ）を碎いた。
イ 締切が迫り、チーム全体の（ ）に火がついた。
ウ 経験者の（ ）を拝借して、手順を見直す。
エ 軽微な不具合だと侮らず、今のうちに（ ）を鳴らすべきだ。
オ 長時間の作業が続いたので、ここで（ ）入れよう。

〈語群〉

① 一息 ② 橋 ③ 尻 ④ 誠意 ⑤ 警鐘
⑥ 心 ⑦ 煙 ⑧ 合図 ⑨ 知恵 ⑩ 注意

